

取扱説明書

油面調節器 LV-08

目次

■ 安全のために必ずお守りください……………	1
■ 特に注意していただきたいこと……………	2
■ 各部の名称・仕様……………	3
■ 運転方法・日常の点検、手入れ	
● シーズンオフの保管方法……………	4
■ 据付け場所の選定・据付け方法……………	5
■ 配管方法……………	7
■ 据付け・配管後の確認	
● アフターサービス……………	8
■ 保証について……………	9

- このたびは、本品をお買い上げいただきましてまことにありがとうございます。
- お使いになる前に、必ずこの「取扱説明書」をよくお読みいただき、正しく使用してください。
- まちがった使用をされますと、機能を十分に発揮しなかったり、故障や思わぬ事故、危険を招くことがあります。
- この「取扱説明書」は、大切に保存しておいてください。

株式会社 **ホクエイ**

安全のために必ずお守りください

■ここに示した事項は、⚠警告 ⚠注意 に区分しています。

⚠警告：取扱いを誤った場合、使用者が死亡又は重傷を負う可能性が想定される場合

⚠注意：取扱いを誤った場合、使用者が傷害を負う危険が想定される場合及び物的損害のみの発生が想定される場合

イラスト（まんが）の横にある ⓧ マークは「禁止」、❗ マークは「強制」
⚠ マークは「注意」を表しています。

安全のために必ずお守りください

⚠ 警告

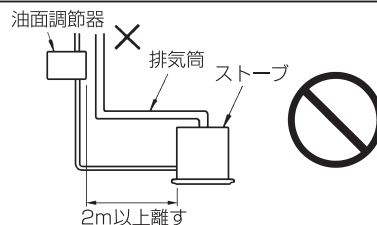
ガソリン厳禁

ガソリンなど揮発性の高い油は、絶対に使用しないでください。
火災の原因になります。



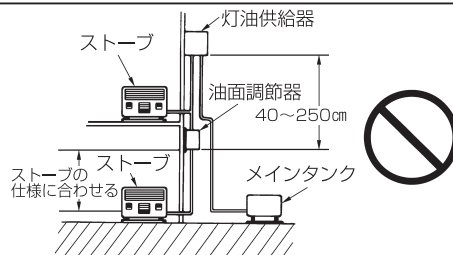
⚠ 注意

ストーブなど火気を使用する機器から水平距離で2m以上離れた場所に据付けてください。また、ストーブの燃焼筒や排気筒などに触れたり、近すぎる場所へは据付けしないでください。



⚠ 注意

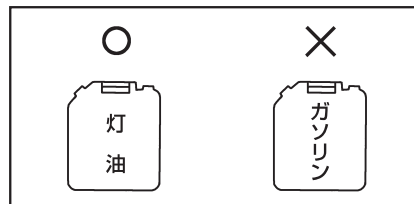
灯油供給器から油面調節器までの高さは40～250cmとなるように据付けてください。但し、140cmを超えた落差で使用すると極まれに異音が発生することがありますので140cm以下の使用をお勧めします。



特に注意していただきたいこと

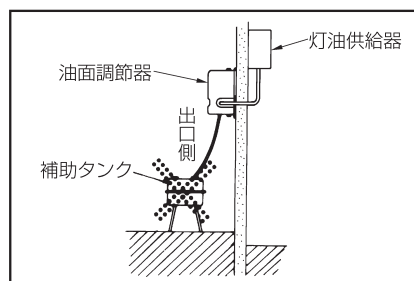
1. 燃料

灯油 (JIS 1号灯油) を必ずお使いください。
汚れた灯油や水の混じっている灯油、変質灯油、ガソリンなどは絶対使用しないでください。
故障や火災の原因になります。



2. 使用

油面調節器は「取扱説明書」をよくお読みいただき、正しくご使用ください。
特に補助タンクや容器に直接給油することは、危険ですから、絶対にしないでください。

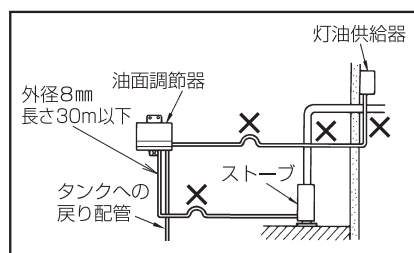


3. 据付け

据付けは、「工事編」に従って正しく行ってください。

特に注意していただきたいこと

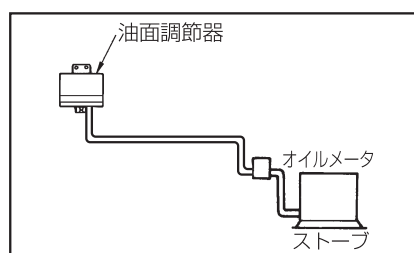
- ① 戻り配管は必ずしてください。
- ② 出口配管は、外径8mm銅管で長さ30m以下としてください。
- ③ 配管の途中が凸状になったり局部的に高温にならないようにしてください。



4. 膜式オイルメータの接続

出口側に膜式オイルメータを接続する場合は、1台までとしメータ内の空気は完全に抜いてください。

空気が残っていると気温の変化で灯油が膨張して逆流することがあり、トリップや灯油漏れ等の原因になります。



5. 修理

故障、破損したものは、使用しないでください。

不完全な修理は危険です。万一、具合が悪くなって処置に困るような場合には、販売店にご連絡ください。

特に注意していただきたいこと

取扱注意編

運転方法

1. 正しい据付け、配管がなされているか確認してください。
2. 外箱をはずしリセットボタン（赤色のボタン）を下に押し下げてください。
3. 普通はそのままストーブへ灯油を給油し続けますが、落差（灯油供給器と油面調節器との垂直高さ）が多すぎたり、配管内のゴミにより安全装置が作動して送油を停止することがあります。
原因を取り除いてから、リセットボタンを下に押し下げてください。
(注) あまりひんぱんに安全装置が作動するようなどときには、取扱い店に連絡し修理を依頼してください。
4. 外箱を取り付け、化粧ねじでしっかりと固定してください。

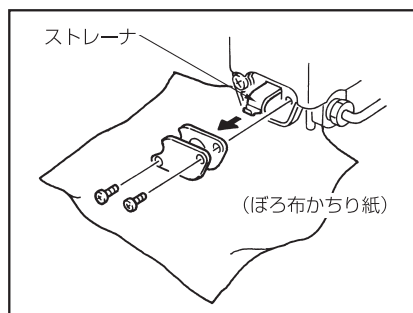
日常の点検、手入れ

ストレーナ部にはごみや水がたまりやすいものです。

シーズン始めには点検し、次の要領で手入れをしてください。

●ストレーナの掃除

- (1) 灯油供給器の出口弁レバーを「閉」にしてください。
- (2) 本体内の灯油を抜き取ってください。
- (3) ストレーナの下部にぼろ布かちり紙を大量に当てておいて、ねじ2本をはずしてストレーナをひき出し、きれいな灯油で洗ってください。
- (4) ストレーナを組付け、こぼれた灯油は拭き取ってください。
- (5) 灯油供給器の出口弁レバーを「開」にしてください。
- (6) ストレーナ部からの油漏れがないことを点検してください。



取扱注意編(運転方法・日常の点検、手入れ・シーズンオフの保管方法)

シーズンオフの保管方法

油面調節器には、出口からの流出を停止する機能はありませんので、シーズンオフにはできるだけ設置したまま保管してください。

接続を外してストーブをしまう場合は、必ず配管の先端に十分な閉止能力を持つコックを付けてください。

工事編

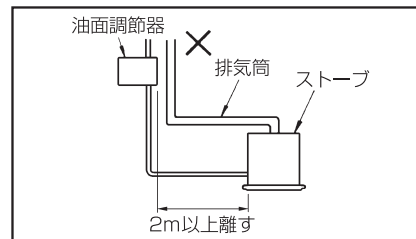
据付け場所の選定

工事編
(据付け場所の選定・据付け方法)

1. 保守・点検がしやすく換気の良い場所で、じょうぶで垂直な柱や壁を選んでください。
2. 戻り配管が容易で、かつ油面調節器からストーブまでの配管の長さが、30m以下になるような場所を選んで据付けてください。
配管の長さがあまり長いと、温度変化により灯油や空気が膨張し、灯油が油面調節器内に逆流し、安全装置が作動することがあります。

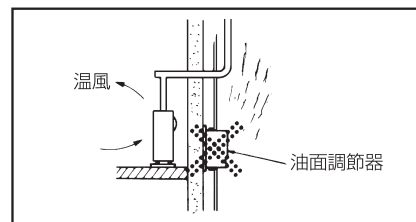
3. 屋内に据付ける場合

ストーブなど火気を使用する機器から水平距離で2m以上離れた場所に据付けてください。また、ストーブの燃焼筒や排気筒などに触れたり近すぎるところへは据付けないでください。



4. 屋外に据付ける場合

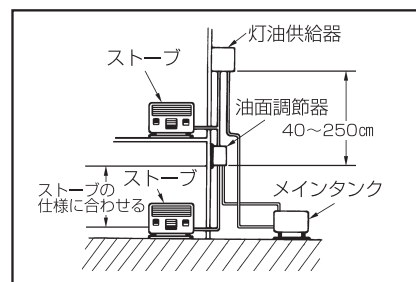
直接雨や雪が、かからないよう必ずひさしのあるところに据付けてください。屋内、屋外据付けとも直射日光の当たる所や発熱体に近い所の据付けは、避けてください。



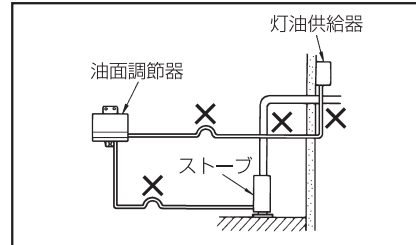
据付け方法

1. 据付け上の注意

- 灯油供給器から油面調節器までの高さは40~250cmとするが、140cmを超えた落差で使用すると極まれに異音が発生することがありますので140cm以下での使用をお勧めします。
油面調節器からストーブまでの高さはストーブの仕様に合わせてください。
- 油面調節器の供給能力は毎時6Lですので、ストーブの灯油消費量と台数を確認してください。

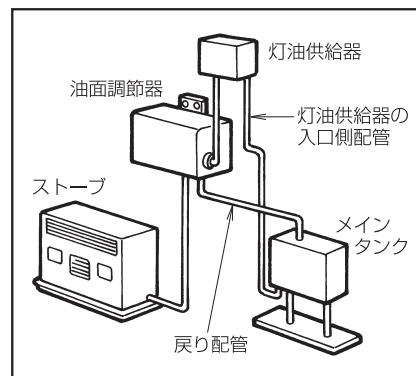


- 配管の途中が凸状になったり、局部的に高温になることがないようにしてください。



2. 戻り配管

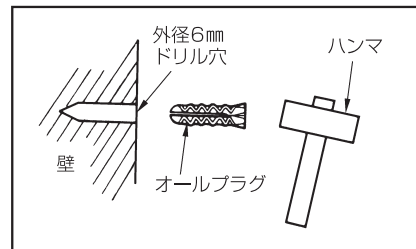
- 安全にお使いいただくため、必ず戻り配管をしてください。
なお、戻り配管はメインタンクの上部に接続してください。
- 配管の途中が凸状にならないようにしてください。



3. 据付け

据付けは次の要領で確実に行ってください。

- (1) 壁や柱が木であれば木ねじでそのまま締付け固定してください。
- (2) 壁や柱がモルタルやコンクリートおよびブロックの場合にはオールプラグ (3個) を使用してください。
- 外径6mmのドリルで壁に穴をあけ、オールプラグをハンマで壁面と同じ面まで打ち込んでください。



- (3) 油面調節器を壁や柱に取り付ける際は、前後、左右の傾きがないことを確認してから、ねじでしっかり固定してください。

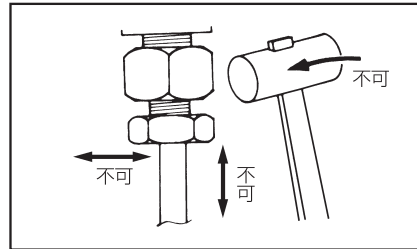
配管方法

1. 配管上の注意

- 銅パイプは右の表に示す種類のものを使用してください。

名 称	りん脱酸銅継目無管または無酸素銅継目無管
管の外径	8mm (ミリメートルサイズ) または 7.93mm (インチサイズ $\frac{5}{16}$)
管の肉厚	0.6~1.0mm

- 銅パイプの管継手から、最初の曲げは、接続前に必ず行っておいてください。接続後の曲げは漏れの原因になります。また銅パイプの曲げはA図に示すような寸法にしてください。
- 装着された管継手に引抜き力、または衝撃力を加えないでください。
- 運転後、管継手部から油漏れがないことを確認してください。



2. 配管

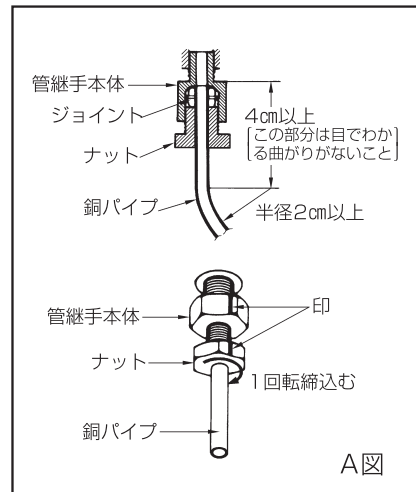
(1) 銅パイプの切断

- パイプカッターで切断してください。
- 切断後のばりは除去してください。

(注) のこぎり、やすりまたは刃こぼれがあるパイプカッターの使用は避けてください。

(2) 銅パイプの接続

- 銅パイプにナット、ジョイントの順に各部品を通してください。
- 次に、管継手本体の当り止めまで完全に銅パイプを入れ、ナットを手で回らなくなるまで締めてください。(この位置で管継手本体とナットに印をつける) この位置からさらに1回転、スパナで締込んでください。



据付け、配管後の確認

1. 据付け、配管工事が終わりましたらもう一度正しく据付け、配管がなされているか、本体各部及び入口側、出口側等の配管各部より油漏れがないことを確認してからご使用ください。
2. 出口側から先の取扱いにつきましては、各社燃焼機器の取扱い方法に準じて正しく行ってください。
また、配管内の空気抜きも完全に行ってください。

アフターサービス

- 本製品に対するお問い合わせは、本製品をお求めになった購入先にご連絡ください。
- 日本国外での保守サービスは負いかねますのでご了承ください。

工事編 (据付け、配管後の確認・アフターサービス)

保証

保証について

保証について

1. 本製品の保証期間は、製品納入後1年間といたします。
2. 上記保証期間中に当社側の責により故障を生じた場合、その製品の代替品または必要な交換部品の無償提供、または弊社工場での修理を無償で速やかに行わせていただきます。
但し、次の項目に該当する場合は、この保証の対象範囲から除外させていただきます。
 - (1) 本仕様書に記載されている条件・環境の範囲を逸脱して使用された場合。
 - (2) 取り扱い不注意などの誤った使用および誤った管理に起因する場合。
 - (3) 故障の原因が納入品以外の事由による場合。
 - (4) 製品本来の使い方以外の仕様による場合。
 - (5) 納入後に行われた当社側が係わっていない構造、性能、仕様などの改変および当社指定外の修理が現認の場合。
 - (6) 納入当時に実用化されていた技術では予見できない事由に起因する場合。
 - (7) 天災・災害など当社側の責でない原因による場合。
 - (8) 異常な外力（納入後の運搬中の落下、使用時の外力等）および、保管上の不備ならびに予知不可能な誤用が原因で起きた製品事故。
 - (9) 140cmを越えた落差で使用すると極まれに異音が発生することがありますがフロート式定油面器の構造上避けられない現象であることから保証の対象外とさせていただきます。
異音が発生した場合は、推奨高さになるよう取付高さを変更してください。

尚、ここでいう保証は納入品単体の保証を意味するもので、納入品の故障により誘発される損害は除外させていただきます。

以上の内容は、日本国内での取引および使用を前提としております。

販売店：

販売日： 年 月 日



株式会社 **ホクエイ**

本社／札幌市東区北丘珠2条3丁目2番30号 TEL (011) 781-5111
FAX (011) 784-2265
関東営業所／埼玉県さいたま市見沼区東大宮5-3-2 TEL (048) 615-4900
山道ビル4階 FAX (048) 615-4901



株式会社 **ホクエイ**

本社／札幌市東区北丘珠2条3丁目2番30号 TEL (011) 781-5111
FAX (011) 784-2265
関東営業所／埼玉県さいたま市見沼区東大宮5-3-2 TEL (048) 615-4900
山皇ビル4階 FAX (048) 615-4901